

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (沖縄)	◎	観光型ホテル (マーケティング担当)	販売量の動き	・Go To Travelキャンペーンの東京都除外の解除もあり、急激に客室稼働率が上がり、今月は久しぶりに前年実績超えを果たしている。
	○	一般小売店 [酒] (店長)	販売量の動き	・Go To Eatキャンペーンなどの成果が現れているとみられる。
	○	百貨店 (店舗企画)	販売量の動き	・前年に比べるとまだ厳しい状況ではあるが、Go To Travelキャンペーンの地域共通クーポン利用による底上げもあり、人の動きが活発化しつつあるのを肌で感じている。
	○	コンビニ (経営者)	販売量の動き	・お昼の弁当の売上が増えている。
	○	コンビニ (経営者)	来客数の動き	・Go To Travelキャンペーンに東京からの観光客も加わり、人数的には増加していることが来店客数を押し上げている状況だが、観光地近隣の全ての店舗が恩恵を受けられる状況にはない。
	○	コンビニ (副店長)	販売量の動き	・Go To Travelキャンペーン、地域共通クーポンの利用により客単価が上昇している。また、たばこのカートン他、ふだん購入されない商品の販売量が増加している。
	○	乗用車販売店 (経理担当)	販売量の動き	・レンタカー会社向けはまだだが、一般客の受注状況は悪くない。
	○	その他飲食 [居酒屋] (経営者)	それ以外	・自店舗のある地域は周りの飲食店も前年の20～30%の入客にとどまっているが、観光地、特に離島は前年比100%を超えているところが出てきている。
	○	観光型ホテル (代表取締役)	来客数の動き	・Go To Travelキャンペーンの影響で、少しずつ観光客の数が増えている。ただ、修学旅行のキャンセルやビジネス客の減少により、まだ、前年の30%という厳しい状況が続いている。
	○	旅行代理店 (マネージャー)	販売量の動き	・Go To Travelキャンペーンが徐々に使われ始めているので、少しずつ販売量も増えてきている。
	○	住宅販売会社 (代表取締役)	お客様の様子	・一時期は新型コロナウイルスの影響で住宅や投資建築に対してちゅうちょする客が目立ったが、最近では作業を再開する動きが増えている。
	□	通信会社 (サービス担当)	お客様の様子	・携帯電話業界は飽和状態で、格安スマートフォンの台頭で厳しい業界になると予想している。3か月前の新型コロナウイルスの影響をかなり受けた頃よりは持ち直してきている。
	□	住宅販売会社 (役員)	販売量の動き	・不動産取引は3か月前と比較して若干増えているが、賃貸契約は変わらない。
	▲	商店街 (代表者)	単価の動き	・新型コロナウイルスのまん延で全体的には大変厳しい現状であり、閉店も多くなっているようである。しかし一部規制緩和等で少しだけ良いところもあるようである。
	▲	スーパー (企画担当)	お客様の様子	・新型コロナウイルス禍の影響で来店客数の減少が継続している。10月の酒税改正とたばこの増税が影響し、新ジャンルビール、ワイン、たばこの販売点数が前年を大きく割っている。
×	衣料品専門店 (経営者)	来客数の動き	・県内の新型コロナウイルス陽性者も増えており、東京はGo To Travelキャンペーンを使えるようになったとはいえ、沖縄を避ける人も多く、来県しても必要以上に出歩かないとみられる。	
企業 動向 関連 (沖縄)	◎	－	－	－
	○	食料品製造業 (総務)	受注量や販売量の動き	・3か月前よりは確実に良くなっているとはみられるが、前年同期比だと明らかに悪い。新型コロナウイルス感染者の縮小傾向がはっきりし、経済活動が活発になれば回復も早いとみられるが、残念ながらそういう状況下にはない。
	□	窯業・土石製品製造業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・公共、民間工事共に前年比で減少しており、特に民間工事では新型コロナウイルスの影響で工事計画中止が出ている。

	<input type="checkbox"/>	輸送業（経営企画室）	取引先の様子	・新型コロナウイルス禍でも、ふだんと変わらない様子であるとみられる。経済的に成長中であつたなかでのダメージなので、結果的に停滞しているのではないか。
	<input type="checkbox"/>	会計事務所（所長）	受注量や販売量の動き	・観光業については、国の政策による一定の効果はあるが、新型コロナウイルスとの共存、バランスをどのように保つか、各人の行動意識が多様である。
	▲	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新築の相談件数は相変わらず少ないが、リフォームの相談が止まっている。
	×	—	—	—
	◎	—	—	—
雇用 関連 (沖縄)	○	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・従来の派遣先から追加の依頼がある。人数の追加であつたり、違う職種での依頼で、人手を必要としてきており、活動が以前より活発になっているようにみられる。また新規依頼も出てきている。
	○	人材派遣会社（総務担当）	求人数の動き	・求人数も少しずつではあるが、増加してきている。ただし、人手不足感は否めない。
	○	学校〔専門学校〕（就職担当）	求人数の動き	・新型コロナウイルスの影響で変化した状況に、やや慣れてきたのか求人が動き出している。しかし採用人数は縮小している。
	○	学校〔大学〕（就職支援担当）	求人数の動き	・建設業などのインフラ整備の業種で求人が目立つ。
	<input type="checkbox"/>	求人情報誌製作会社（編集室）	求人数の動き	・7月は週平均件数530件の前年同月比68%で、今月は週平均件数501件の前年同月比71%である。7月と比較すると、件数はマイナス29件だが、前年比較だと余り差がみられないので変わらないとみられる。
	<input type="checkbox"/>	職業安定所（職員）	求人数の動き	・10月開始と同時に、求人数にはここ最近みられないくらい勢いがあり景気回復を感じたが、2週目を以降その勢いが失速している。主要の観光業の求人も、前年度は人手が足りていないことから多めに出していたが、最近は、必要な分を精査して出しているように見受けられる。
	▲	—	—	—
	×	—	—	—